

12月3日～9日は 障害者週間です

障害者週間は、障がいのある人たちに對する偏見や障壁を取り除き、社会参加を推進していくために理解と認識を深めるための週間です。

障がいのある人たちの社会参加は、まわりの人の理解と認識があつてこそ実現するものであり、地域住民の心づかいや思いやりが住みよいまちづくりにつながります。

日常生活や事業活動の中でできる配慮や工夫を考えてみませんか？ 障がいのある人が安心して暮らせるまちづくりは、だれもが暮らしやすいまちづくりにつながります。



「伊賀市障がい者福祉計画」について

市では、障がいのある人が市民の一員として参加し、住み慣れたまちで、いつまでも安心して共に助けあって暮らせるよう、一人ひとりのニーズと思いに沿った支援をする取り組みを進めていくための基本方針として「伊賀市障がい者福祉計画」を策定しています。

計画の基本理念

だれもが自分らしく暮らせるまちをつくる

基本理念の達成に向けた目標と基本方針

目標Ⅰ

- 1 一人ひとりに応じた生活支援のしくみをつくる
- 2 情報提供と相談支援の充実
- 3 生活を支援するサービスの推進
- 4 保健・医療・福祉分野の連携体制の強化

目標Ⅱ

- 1 生涯を通じた発達と社会参加支援のしくみをつくる
- 2 早期療育と保育の充実
- 3 学齢期の子どもの教育・療育の推進
- 4 就労支援の推進
- 5 社会参加活動の推進

目標Ⅲ

だれもが心地よく安心して暮らせるまちをつくる

- 1 市民の理解と協働の推進
- 2 快適で安全なまちづくりの推進

※計画は、障がい福祉課・各支所住民福祉課にあるほか、市ホームページにも掲載しています。

■ 障がい福祉に関する相談窓口を設けています

障がいのある人やその家族の相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。

相談機関	内容	連絡先
伊賀市障がい者相談支援センター	市が設置している相談専門機関で、市役所内にあります。障がい福祉サービスの利用や地域で生活する上で困っていることなどの相談に応じます。関係機関と連携して必要な支援を行います。	☎ 26-7725 FAX 22-9662 ✉ iga-syougai1@ict.jp
伊賀市障がい者相談員	市の委嘱で活動している相談員です。自身の経験をもとにアドバイスをします。 ○身体：前川款昭（下郡）・福本紀昭（緑ヶ丘本町）・杉山忠勝（上野桑町）・坂本元之（坂下）・長谷川光輝（阿保）・浜口恵美子（緑ヶ丘本町） ○知的：野田一尊（東高倉）・竹島和実（緑ヶ丘東町）・藤島恒久（中柘植） ○精神：森藤歌代子（上野西大手町）	障がい福祉課 ☎ 22-9656 FAX 22-9662

叙勲・褒章

長年にわたり国家または公共に対し功労のある人、社会の各分野において優れた行いのある人などに授与される叙勲・褒章に市内から7人が選ばれました。栄えある受章、おめでとうございます。

○秋の叙勲

○危険業務従事者叙勲

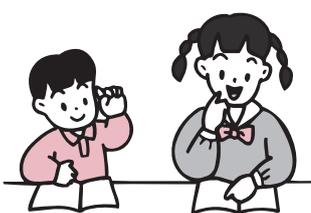
- 〔旭日双光章〕
平木 達郎さん(上野中町)
納税功労(元三重県青色申告会連合会会長)
森本 剛士さん(緑ヶ丘南町)
- 〔瑞宝双光章〕
谷口 隆啓さん(四十九町)
消防功労(元三重県伊賀北部消防組合消防監)

- 〔瑞宝小綬章〕
植木 義信さん(柘植町)
郵政事業功労(元大津中央郵便局長)
- 〔藍綬褒章〕
池田 君雄さん(上神戸)
警察功労(元大阪府警部補)

- 〔瑞宝双光章〕
高田 喜博さん(上野東町)
更生保護功労(現保護司)
- 〔藍綬褒章〕
市川 隆成さん(島ヶ原)
消防功績(現伊賀市消防団副団長)



平成24年度 人権作品市長賞



市民の皆さんの人権問題に対する関心を深め、人権意識の高揚を図ることを目的として人権作品(作文・ポスター・標語)を募集し、総応募点数16,574点の中から、市長賞・優秀賞・入選作品を決定しました。その中から市長賞を受賞された皆さんを紹介します。

■作文

- 小学生の部
「私の生き方」 中瀬小学校6年 岡田 未衣子さん
- 中学生の部
「いじめについて考えたこと」
島ヶ原中学校3年 留永 真弓さん

■標語

- 小学生の部
『一人一人が宝物 いらない命は ないんだよ』
花之木小学校4年 澤田 和也さん
- 中学生の部
『一人じゃないよ 一人にしないよ 話してよ』
緑ヶ丘中学校3年 川端 諒さん

■ポスター

- 小学生の部 猪田小学校5年 松永 歩未さん
- 中学生の部 阿山中学校3年 中井 晴日さん

